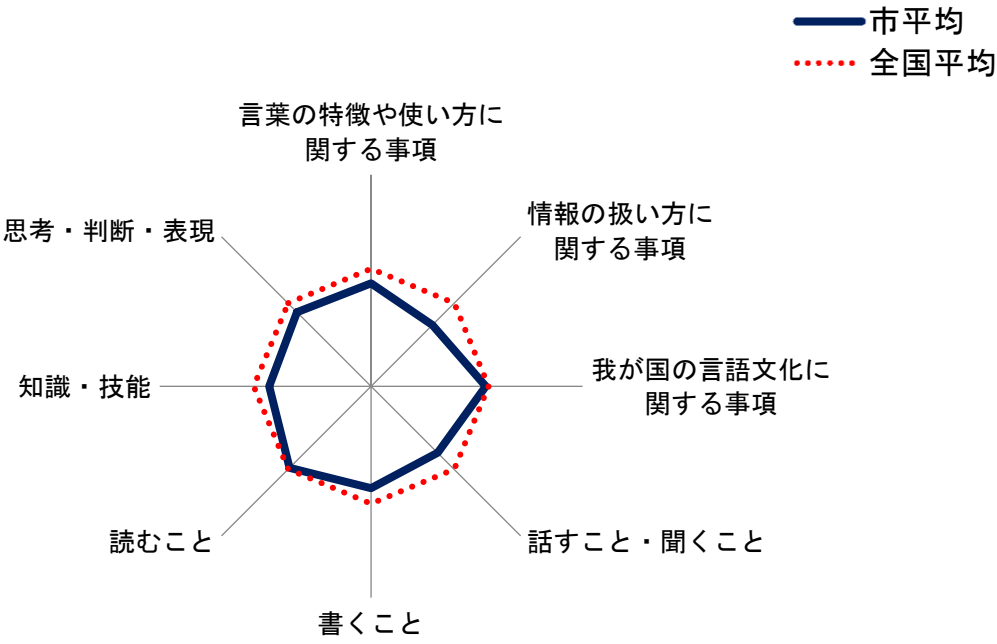
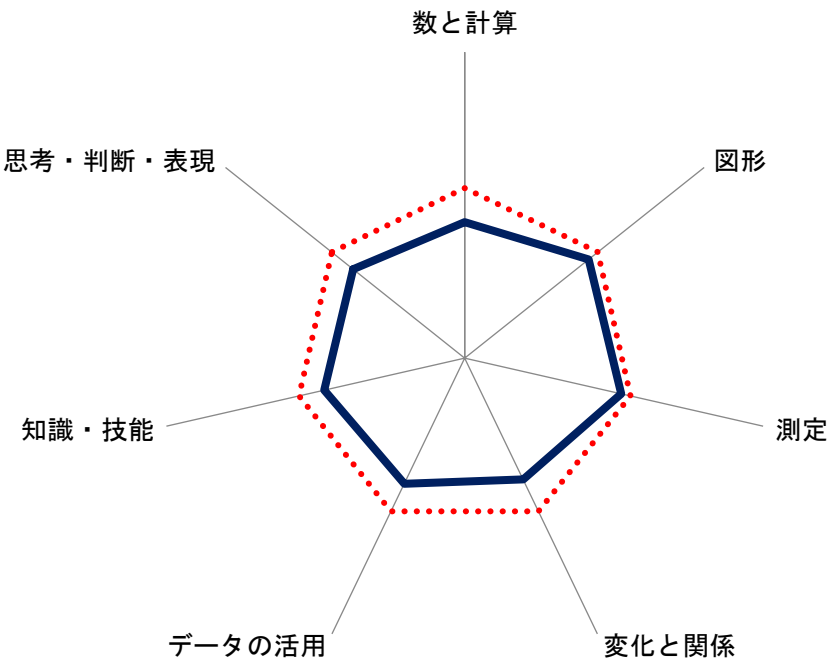


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

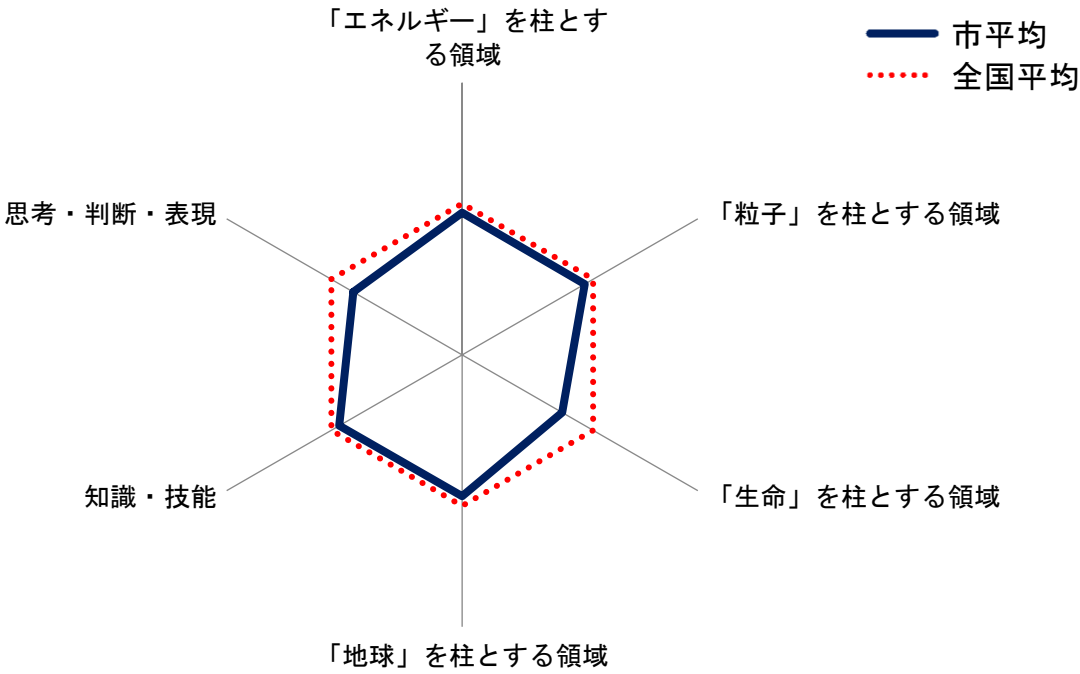


【算数】

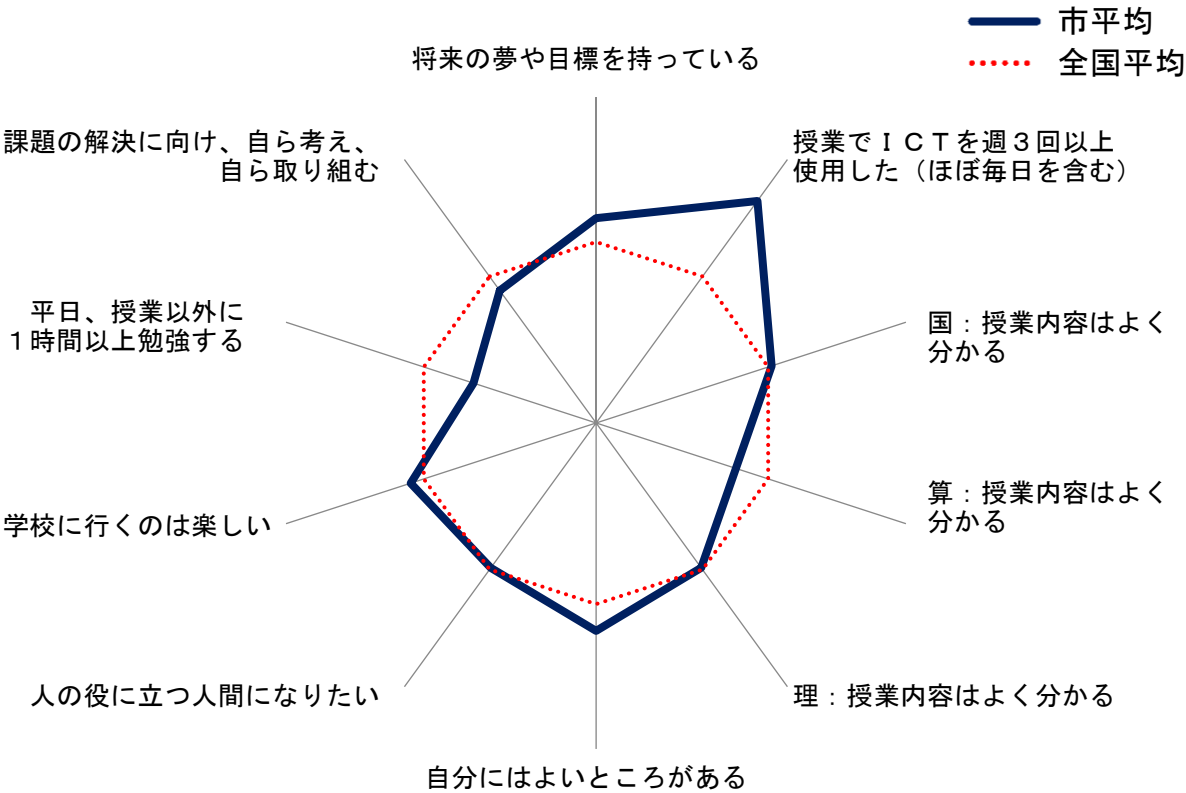


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」は昨年度に比べて全国平均との差が小さくなっているものの、国語、算数、理科において全ての項目が全国平均を下回っており、基礎的・基本的な知識及び技能の定着に課題が見られる。今後は、全国平均との差が大きい項目を中心に詳細な分析を行い、児童一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を進めるとともに、市独自の「授業改善のための10のポイント」を活用した振り返りの充実を図るなど、授業改善を推進していくことが望まれる。

児童質問調査では、「自分にはよいところがある」の項目が今年度は全国平均を上回り、良好な結果が見られる。また「授業でICTを週3回以上使用した」の項目が昨年度に引き続き全国平均を大きく上回っているものの、「平日、授業以外に1時間以上勉強する」の項目は全国平均を大きく下回っており、課題である。今後は、家庭学習の意義や具体的な学習方法の指導など、基本的な学習習慣の確立に向けた取組を、学校と家庭が連携して進め、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図ることが望まれる。